

# 三人でベイシー! の クリスマスイブだよ、全員集合!

2018 12月24日(日)

開場 14:30

開演 15:00~

(2ステージ 入替なし休憩あり 途中入場可)

大人MC 3,000円 +2drinks order

学割MC 2,000円 +2drinks order

(学生証ご提示下さい) (1drink 600円~)

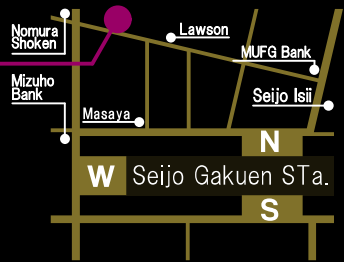
CAFE **BEULMANS**

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## ジャンボ小野 contrabass

1954年、東京都渋谷区出身。  
兄の影響で9歳頃からギターなど楽器に親しみ始め、仲間とグループを作りbassを担当。高校在学中よりベテランバンドに混じってアルバイトもし始めた。卒業後wood bassに興味を持ち柴田恒夫氏に実技 荒川康夫氏に理論を習う。20代はジャズクラブ「After 6」を中心にsir Charles Thompson、Red Richards、Gene Rodgers他、沢山のアメリカのピアニストのグループでジャズのスピリットを学ぶ。30代では、フリーのミュージシャンとなり様々な活動を開始する。この頃来日中のScot Humiltonとも共演する。現在コンボでは、谷口英治6、岩見淳三with Yayoi、など、フルバンドでは、鈴木正夫と「スウィングタイムス」、そして菅原洋一氏、旗照夫氏、しばたはつみさんなどのサポートとしても活躍し、さらに若手の鈴木重子さん、小林桂君などのステージにも参加。



## 谷口英治 clarinet

福岡県北九州市出身。12歳のときに明治学園中学校の吹奏楽部でクラリネットを始める。早稲田大学(商学部)在学中は同校スイング・アンド・ジャズ・クラブ部長をつとめるほか、明治大学ビッグ・サウンズ・ソサエティにも参加。大学卒業後プロとしての演奏活動を開始するや、久々に現れたクラリネットの新鋭として注目を浴び、スイングジャーナル誌'93年度批評家投票クラリネット新人部門で1位、同誌人気投票でも上位にランクされる(クラリネットでは長年にわたり北村英治氏に次いで第2位)。国際クラリネットフェスト東京の制作とオーケストラの指揮を担当しジャズクラリネットの世界最高峰であるパディ・デフランコ、エディ・ダニエルズとの共演を果たす。自己のグループとしては<谷口英治セクステット>を中心にライブ、コンサート、各地ジャズフェスティバルなど精力的に活動。オーソドックスなジャズのスタイルとコンテンポラリーなセンスが絶妙のバランスでブレンドされたフレキシビリティのある音楽性を活かし、クラリネットミュージックの領域を広げている。



## 有田純弘 guitar

ギター、バンジョー、マンドリンなど多くの弦楽器を弾きこなし、ジャンルの壁を越えて活動するマルチアコースティックミュージシャン。大阪府出身。15歳の頃からブルグラス・ミュージックに傾倒。1970~80年代、多くのアメリカのブルグラス・フェスティバルで演奏する。1984年にパークリー音楽大学入学。翌年、全米ナショナル・ブルグラス・バンジョー・チャンピオンシップで日本人初の優勝。その後、ボストンを拠点に、ジャズ、フォーク、クラシック、民族音楽と様々なジャンルの音楽活動を行う。1990年代より都内を拠点に、教則DVD「ブルグラス・バンジョーの達人」「ジブシー・ギター奏法 ジャンゴ・ラインハルト・スタイル研究」(リットー・ミュージック)を発表。1999年より「アコースティック・ギター・マガジン」でコラムを担当。2003年より洗足学園音楽大学ジャズコース ギター講師。